

平成 17 年度
雷別地区冬期哺乳類調査

作 業 報 告 書

平成 18 年 3 月

特定非営利活動法人

EnVision 環境保全事務所

まえがき

本報告書は、北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターの委託を受けて実施した「平成 17 年度 雷別地区冬期哺乳類調査」の調査内容および結果を取りまとめたものである。

当該地区では、トドマツ人工林の立ち枯れに伴う、森林の自然再生推進モデル事業が計画されている。自然再生事業の計画を検討するにあたり、雷別地区では、森林及び自然環境の現況を把握する調査および作業が進められている。本業務はそのうち、雷別地区に生息する冬期の哺乳類相を把握する目的で行われた。

本事業の成果は、基礎資料の 1 つとして、北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターが雷別地区において計画する自然再生推進モデル事業に資するものである。

平成 18 年 3 月

特定非営利活動法人
EnVision 環境保全事務所

目 次

1. 業務目的	1
2. 調査手法	1
2.1 調査地	1
2.2 調査方法	3
2.2.1 ルートセンサス	3
2.2.2 自動撮影装置	4
3. 調査結果	5
3.1 概要	5
3.2 ルートセンサス	7
3.2.1 R1 林縁部	7
3.2.2 R2 針葉樹林	13
3.2.3 R3 広葉樹林	19
3.2.4 R4 ミズナラ植林地	25
3.3 自動撮影装置	31
4. 考察	34
5. 資料	35
5.1 ルートセンサスの記録写真	35
5.2 自動撮影装置での写真一覧	53

図表一覧

表-1	確認された哺乳類一覧
表-2	ルートセンサスにより確認された哺乳類一覧
表-3	自動撮影装置により確認された哺乳類一覧
表-4	R1 で確認された哺乳類一覧
表-5	R1 で確認された痕跡一覧 (第1回調査)
表-6	R1 で確認された痕跡一覧 (第2回調査)
表-7	R2 で確認された哺乳類一覧
表-8	R2 で確認された痕跡一覧 (第1回調査)
表-9	R2 で確認された痕跡一覧 (第2回調査)
表-10	R3 で確認された哺乳類一覧

- 表-11 R3 で確認された痕跡一覧（第1回調査）
- 表-12 R3 で確認された痕跡一覧（第2回調査）
- 表-13 R4 で確認された哺乳類一覧
- 表-14 R4 で確認された痕跡一覧（第1回調査）
- 表-15 R4 で確認された痕跡一覧（第2回調査）
- 表-16 自動撮影装置で撮影された哺乳類と撮影日時一覧

- 図-1 調査地の位置
- 図-2 ルート（R1-R4）と自動撮影装置設置地点（C1-C4）位置図
- 図-3 調査風景
- 図-4 自動撮影装置
- 図-5 自動撮影装置設置状況
- 図-6 R-1 の周辺環境
- 図-7 R1 で確認された主な痕跡
- 図-8 R1 における痕跡確認地点（第1回調査）
- 図-9 R1 における痕跡確認地点（第2回調査）
- 図-10 R1 で確認された食痕位置図
- 図-11 R2 の周辺環境
- 図-12 R2 で確認された主な痕跡
- 図-13 R2 における痕跡確認地点（第1回調査）
- 図-14 R2 における痕跡確認地点（第2回調査）
- 図-15 表-15 R4 で確認された痕跡一覧（第2回調査）
- 図-16 R3 の周辺環境
- 図-17 R3 で確認された主な痕跡
- 図-18 R3 における痕跡確認地点（第1回調査）
- 図-19 R3 における痕跡確認地点（第2回調査）
- 図-20 R3 で確認された食痕位置図
- 図-21 R4 の周辺環境
- 図-22 R4 で確認された主な痕跡
- 図-23 R4 における痕跡確認地点（第1回調査）
- 図-24 R4 における痕跡確認地点（第2回調査）
- 図-25 R4 で確認された食痕位置図
- 図-26、27、28、29 自動撮影装置で撮影された主な哺乳類

要旨

本業務では、雷別地区の冬期の哺乳類相を把握することを目的に、293 林班とその周辺で4つの環境タイプごとにルートを設定し、ルートセンサスと自動撮影装置による調査を実施した。

調査の結果、ルートセンサスにより4目6科8種、自動撮影装置により2目3科5種、あわせて4目6科8種の哺乳類が確認された。このうち、エゾユキウサギとエゾシカの2種が今後の事業に影響を及ぼすと考えられ、それぞれ今後の課題について整理をした。

1. 業務目的

雷別地区自然再生推進モデル事業地の周辺の自然環境を明らかにするための基礎的な生態系調査として、哺乳類の調査を実施し、事業計画立案のための基礎資料とする。

2. 調査手法

2.1 調査地

雷別地区国有林内の 293 林班とその周辺において、4つの環境タイプを代表するルートを1箇所ずつ設定し、ルートセンサスと自動撮影装置による哺乳類相の調査を行った。調査地の位置を図-1に、ルートおよび自動撮影設置箇所を図-2に示す。

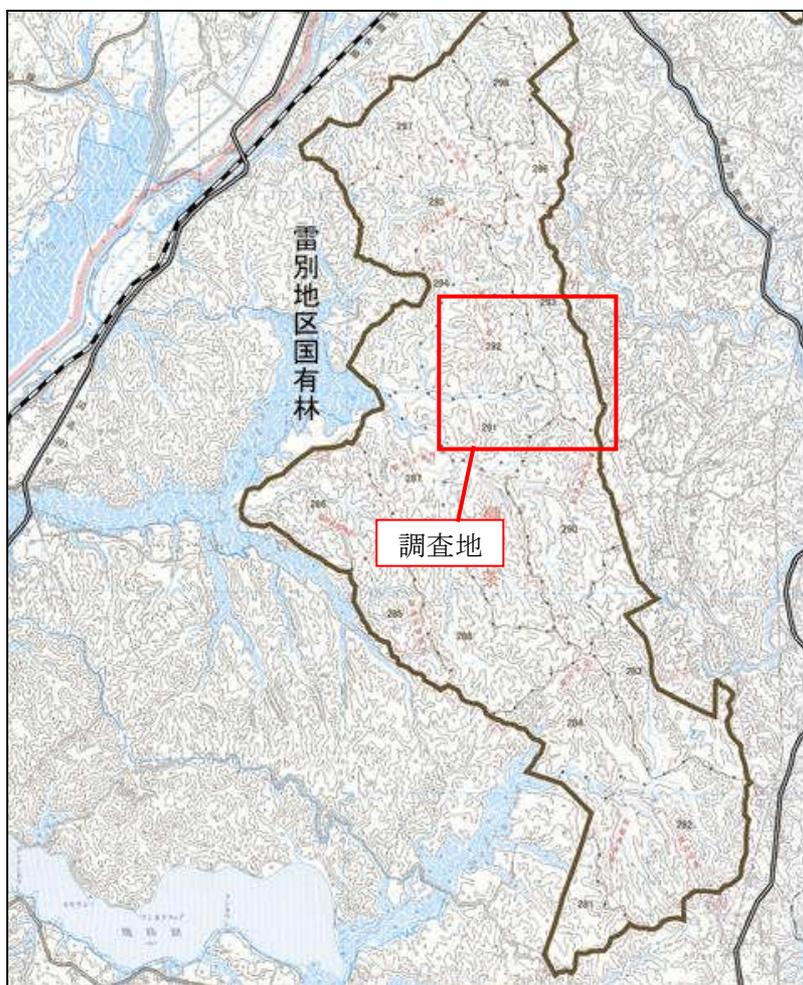


図-1 調査地位置図

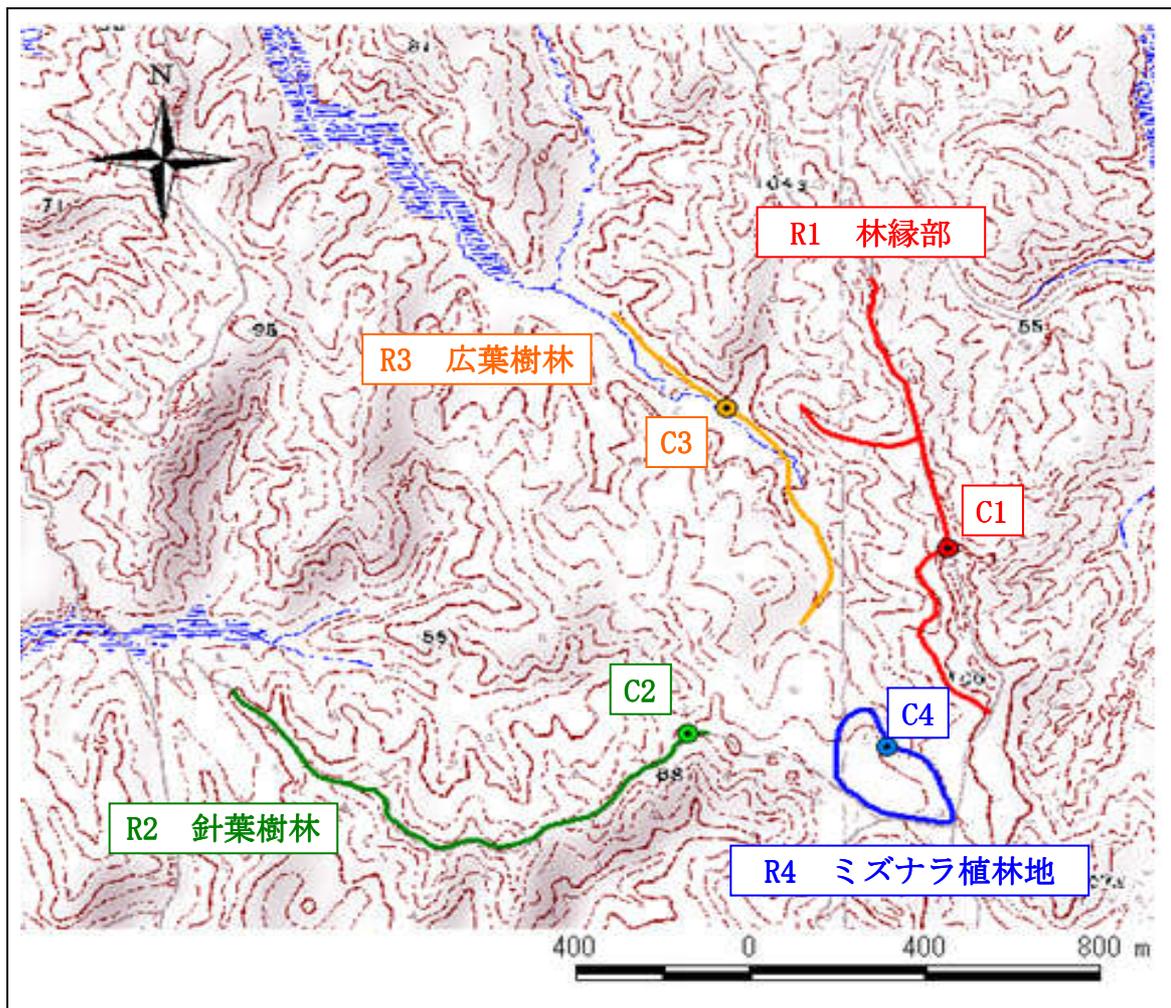


図-2 ルート (R1-R4) と自動撮影装置設置地点 (C1-C4) 位置図

2.2 調査方法

2.2.1 ルートセンサス

調査は平成 18 年 2 月 7 日から 2 月 9 日と平成 18 年 2 月 20 日から 2 月 22 日の 2 回にわたり実施した。各回とも、設定したルート进行调查員 2 名により踏査し、哺乳類の姿の目視およびフィールドサイン（足跡、食痕、フン等の痕跡）の発見に努めた（図-3）。発見したものについては、可能な限り種を同定し、写真を撮影して、GPS（全地球測位システム）によりその位置を記録した。

フィールドサインについては、基本的に 1~2 日以内の新しいものを記録した。ただし、食痕については、新旧の判断が難しく、広範囲に広がることも多い。そこで、周辺の状況から 1~2 日以内と判断できた食痕については、その位置をポイントとして記録し、それ以外で今冬に発生したと考えられる食痕については、その範囲を別途記録した。



図-3 調査風景

2.2.2 自動撮影装置

各センサスルートから、哺乳類が頻繁に利用していると考えられる場所を1箇所ずつ選択し、それぞれに自動撮影装置を1台ずつ設置した(図-4、5)。設置期間は、平成18年2月7日から平成18年3月8日までの約1ヶ月間とした。

今回使用した自動撮影装置は、哺乳類の体から発せられる熱を赤外線センサーが関知して、カメラが作動する仕組みとなっている。また、設置条件が良好であった針葉樹ルート(C2)を除いて、日中の陽光などによる誤作動を抑えるために、夜間のみ稼働する設定とした。



図-4 自動撮影装置



C1 林縁部



C2 針葉樹林



C3 広葉樹林



C4 ミズナラ植林地

図-5 自動撮影装置設置状況

3. 調査結果

3.1 概要

調査全体では、4目6科8種の哺乳類が確認された（表-1）。このうちルートセンサスにより4目6科7種（表-2）、自動撮影装置により2目3科5種（表-3）がそれぞれ確認された。ルートの環境別にみると、R1 林縁部とR2 針葉樹林では、ネズミ科 sp.、エゾリス、エゾユキウサギ、テン属 sp.、キタキツネ、エゾシカの計6種が確認された。また、R3 広葉樹林では、上記6種からネズミ科 sp.をのぞいたものに、イタチ属 sp.とエゾタヌキの2種を加えた計7種が確認された。R4 ミズナラ植林地は確認された種が最も少なく、エゾリス、エゾユキウサギ、キタキツネ、エゾシカの4種であった。

表-1 確認された哺乳類一覧

目	科	種	学名	R1 林縁部	R2 針葉樹林	R3 広葉樹林	R4 植林地
ネズミ目	ネズミ科	ネズミ科の1種	<i>Muridae sp.</i>	●	●		
	リス科	エゾリス	<i>Sciurus vulgaris orientis</i>	●	●	●	●
ウサギ目	ウサギ科	エゾユキウサギ	<i>Lepus timidus ainu</i>	●	●	●	●
ネコ目	イタチ科	イタチ属の1種	<i>Mustela sp.</i>			●	
		テン属の1種	<i>Martes sp.</i>	●	●	●	
	イヌ科	エゾタヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides albus</i>			●	
		キタキツネ	<i>Vulpes vulpes shrencki</i>	●	●	●	●
ウシ目	シカ科	エゾシカ	<i>Cervus Nippon yesoensis</i>	●	●	●	●
4目	6科	8種		6種	6種	7種	4種

表-2 ルートセンサスにより確認された哺乳類一覧

目	科	種	学名	R1 林縁部	R2 針葉樹林	R3 広葉樹林	R4 植林地
ネズミ目	ネズミ科	ネズミ科の1種	<i>Muridae sp.</i>	●	●		
	リス科	エゾリス	<i>Sciurus vulgaris orientis</i>	●	●	●	●
ウサギ目	ウサギ科	エゾユキウサギ	<i>Lepus timidus ainu</i>	●	●	●	●
ネコ目	イタチ科	イタチ属の1種	<i>Mustela sp.</i>			●	
		テン属の1種	<i>Martes sp.</i>	●	●	●	
	イヌ科	キタキツネ	<i>Vulpes vulpes shrencki</i>	●	●	●	●
ウシ目	シカ科	エゾシカ	<i>Cervus Nippon yesoensis</i>	●	●	●	●
4目	6科	7種		6種	6種	6種	4種

表-3 自動撮影装置により確認された哺乳類一覧

目	科	種	学名	R1 林縁部	R2 針葉樹林	R3 広葉樹林	R4 植林地
ウサギ目	ウサギ科	エゾユキウサギ	<i>Lepus timidus ainu</i>	●		●	
ネコ目	イタチ科	イタチ属の1種	<i>Mustela sp.</i>			●	
		テン属の1種	<i>Martes sp.</i>		●		
	イヌ科	エゾタヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides albus</i>			●	
		キタキツネ	<i>Vulpes vulpes shrencki</i>	●	●	●	
2目	3科	5種		2種	4種	0種	

3.2 ルートセンサス

3.2.1 R1 林縁部

R1 林縁部の周辺環境を図-6 に示す。R1 では4目6科6種の哺乳類が確認された(表-4、図-7)。第1回の調査結果を表-6 と図-8 に、第2回の調査結果を表-7 と図-9 に示す。また、確認された食痕の位置図を図-10 に示す。



図-6 R1 の周辺環境

表-4 R1 で確認された哺乳類一覧

目	科	種	目視		足跡		食痕		フン		その他	
			①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
ネズミ目	ネズミ科	ネズミ科の1種			●							
	リス科	エゾリス				●						
ウサギ目	ウサギ科	エゾユキウサギ			●	●	●	●	●	●		
ネコ目	イタチ科	テン属の1種				●						
	イヌ科	キタキツネ	●		●	●			●	●		
ウシ目	シカ科	エゾシカ			●	●	●	●	●	●	●	
4目6科6種												

①：第1回調査（2月8日）

②：第2回調査（2月21日）



ネズミ科の1種 足跡



エゾリス 足跡



エゾユキウサギ 足跡



エゾユキウサギ 食痕・フン



テン属の1種



キタキツネ 足跡



エゾシカ 足跡



エゾシカ フン

図-7 R1で確認された主な痕跡

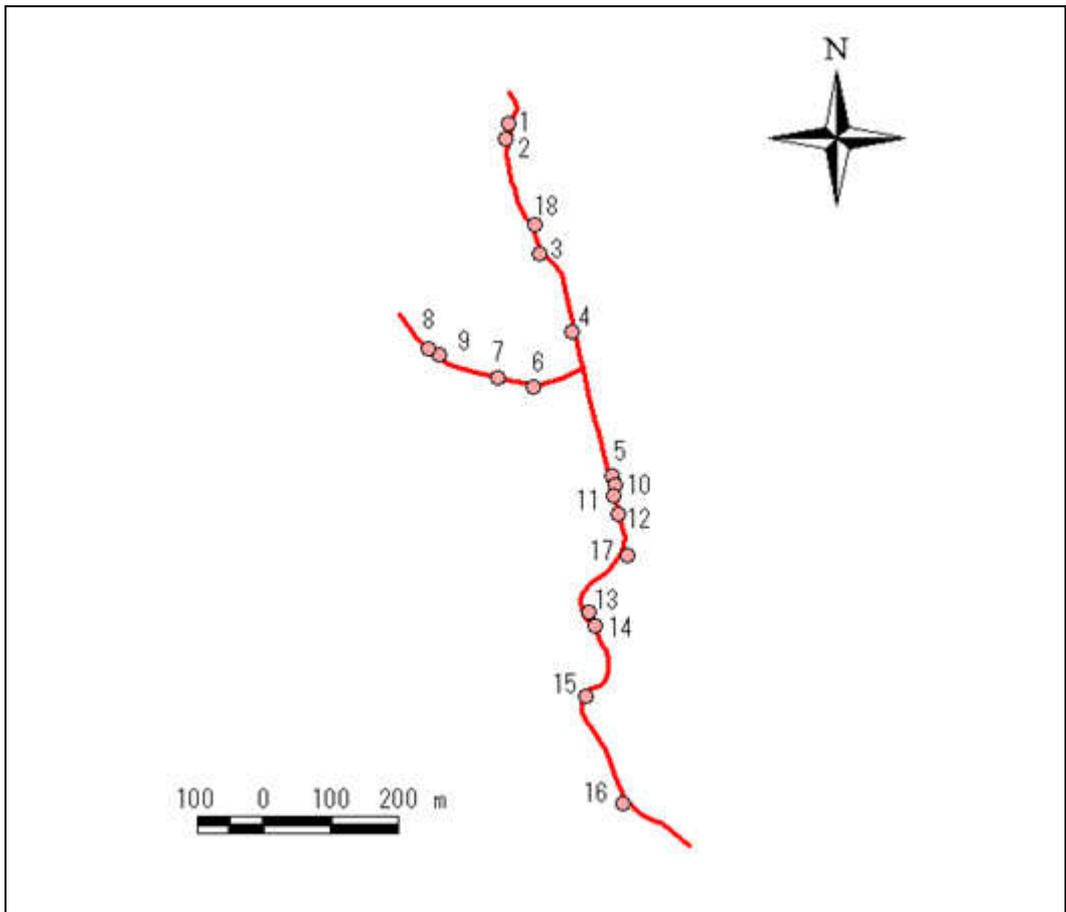


図-8 R1における痕跡確認地点（第1回調査）

表-5 R1で確認された痕跡等一覧（第1回調査）

地点No.	種	痕跡内訳	地点No.	種	痕跡内訳
1	ネズミ科の1種	足跡	12	エゾユキウサギ	足跡
2	エゾユキウサギ	足跡	13	キタキツネ	足跡
3	エゾユキウサギ	足跡、フン、食痕	14	エゾユキウサギ	足跡
4	キタキツネ	足跡	15	キタキツネ	足跡
5	エゾユキウサギ	足跡	16	ネズミ科の1種	足跡
6	エゾシカ	足跡、フン、食痕	17	キタキツネ	姿
7	エゾシカ	フン、食痕	18	キタキツネ	フン
8	キタキツネ	足跡	19		
9	エゾシカ	フン、食痕、休み跡	20		
10	キタキツネ	足跡	21		
11	エゾシカ	食痕、フン	22		

備考: 地点No.17とNo.18は、調査終了後に同じルートを戻る途中に確認したもの。地点No.17は目視時の調査員の位置。キタキツネは地点から約400m北の農地を歩いていた。地点No.18のフンはこの個体によるものと推察される。エゾシカの古い食痕については別途記載する。

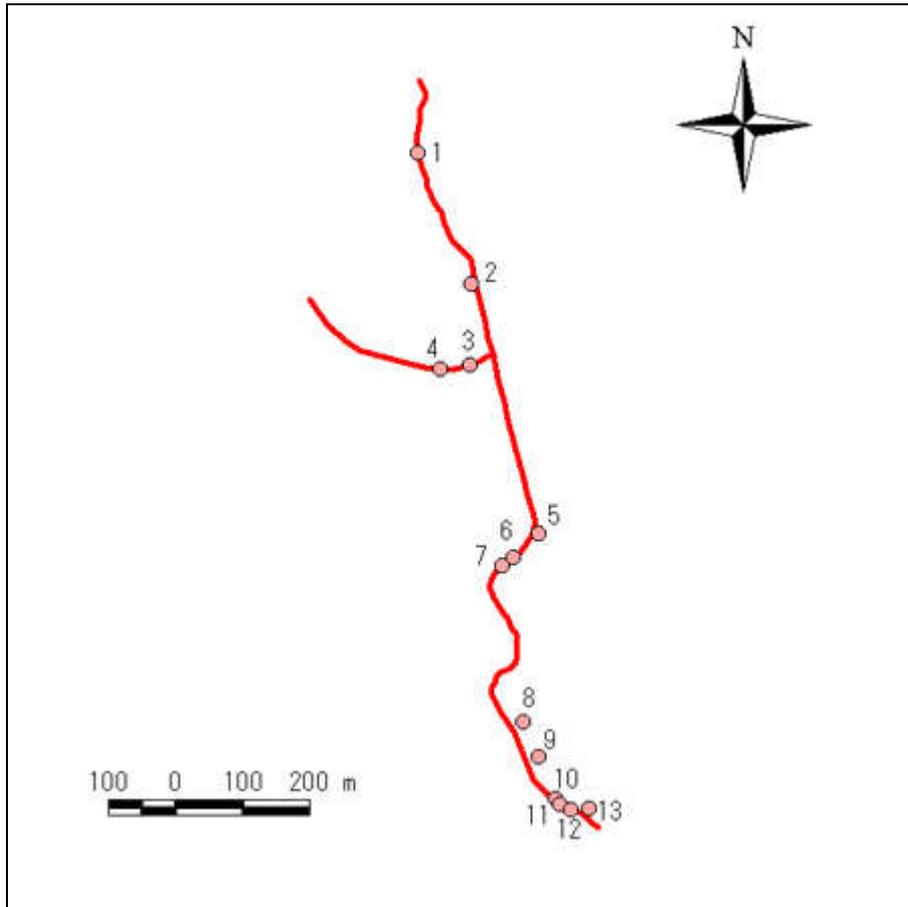


図-9 R1における痕跡確認地点（第2回調査）

表-6 R1で確認された痕跡一覧（第2回調査）

地点No.	種	痕跡内訳	地点No.	種	痕跡内訳
1	キタキツネ	足跡, フン	12	エゾリス	足跡
2	キタキツネ	足跡	13	エゾユキウサギ	足跡
3	エゾリス	足跡	14		
4	キタキツネ	足跡	15		
5	エゾユキウサギ	足跡	16		
6	キタキツネ	足跡	17		
7	エゾユキウサギ	足跡、フン、食痕	18		
8	エゾシカ	足跡、フン、食痕	19		
9	エゾシカ	食痕	20		
10	テン属の1種	足跡	21		
11	キタキツネ	足跡	22		

備考: エゾシカの古い食痕については別途記載する。



エゾシカ食痕 (ハンノキ)

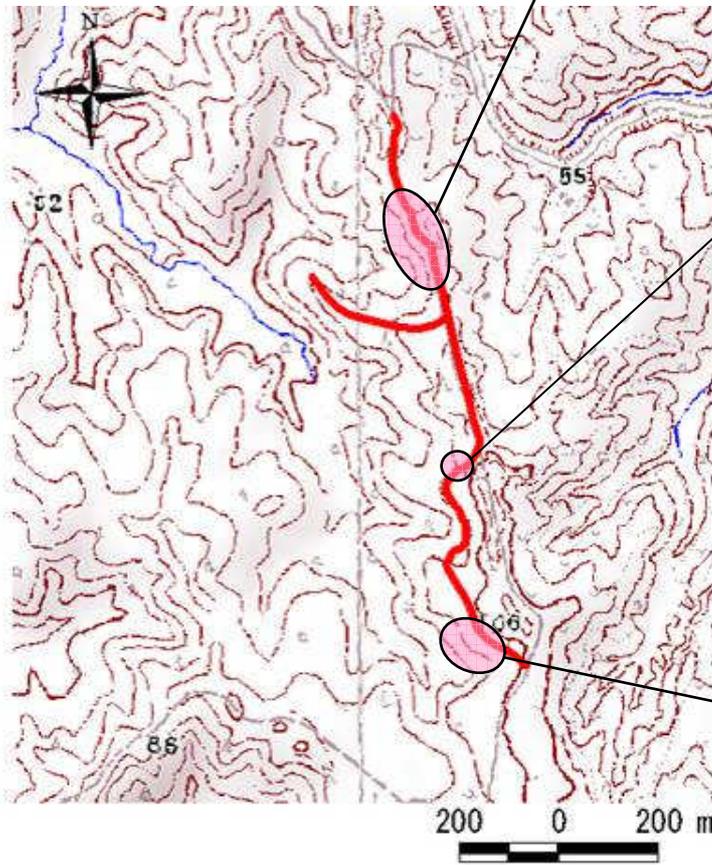


エゾシカ食痕 (ハルニレ)



エゾシカ食痕 (ハルニレとササ)

この辺りハルニレの
樹皮剥ぎ跡が目立つ



エゾシカ食痕 (ヤチダモ)



エゾシカ食痕 (トドマツ)
トドマツ林内では休息跡も
多く見られた

図-10 R1 で確認された食痕位置図

3.2.2 R2 針葉樹林

R2 針葉樹林の周辺環境を図-11 に示す。R2 では4目6科6種の哺乳類が確認された(表-7、図-12)。第1回の調査結果を表-8と図-13に、第2回の調査結果を表-9と図-14に示す。また、確認された食痕の位置図を図-15に示す。

第1回調査 平成18年2月7日 曇り 積雪約60cm

第2回調査 平成18年2月20日 曇り 積雪約30~40cm

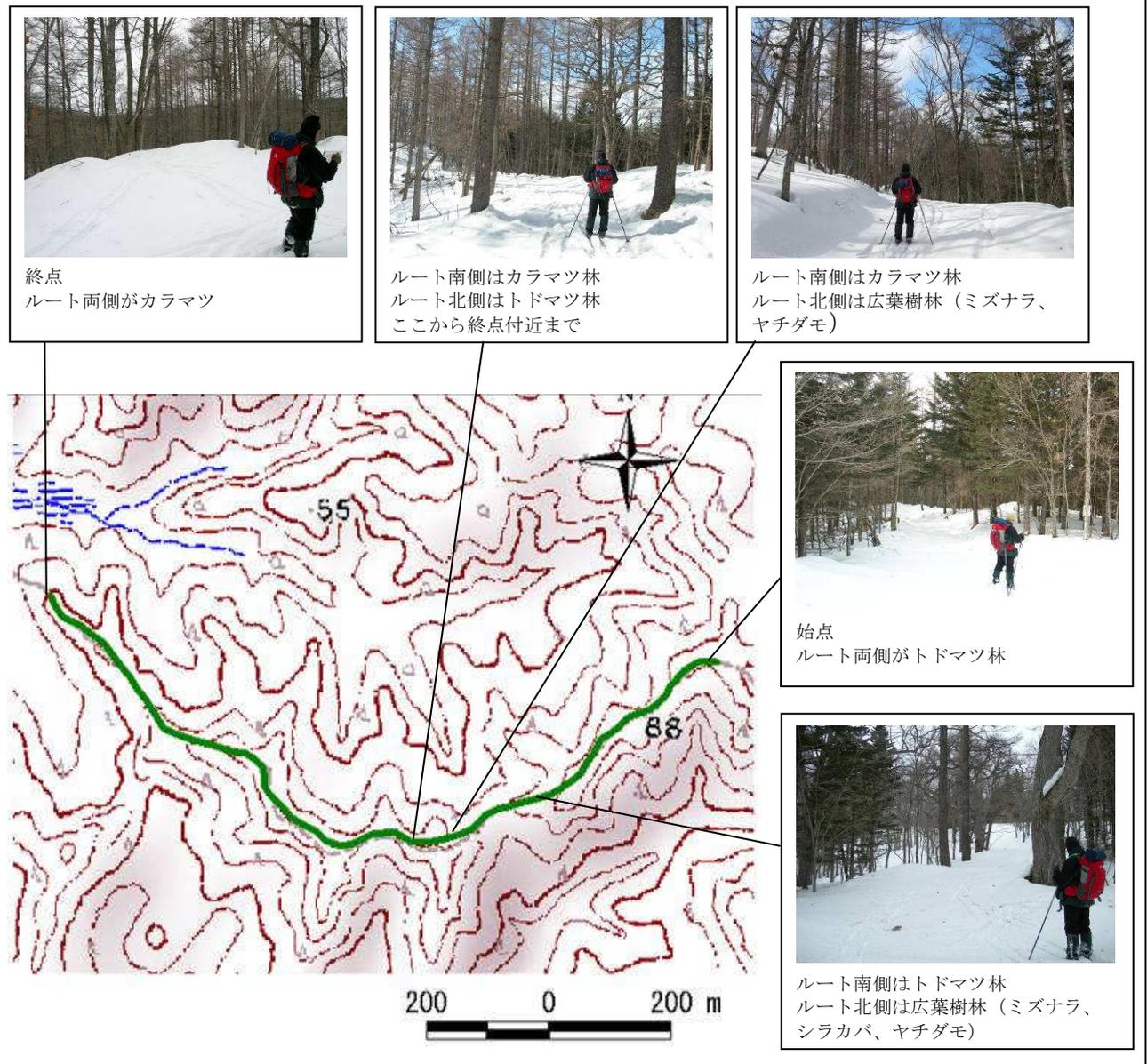


図-11 R2の周辺環境

表-7 R2 で確認された哺乳類一覧

目	科	種	目視		足跡		食痕		フン		その他	
			①	②	①	●	①	②	①	②	①	②
ネズミ目	ネズミ科	ネズミ科の1種			●							
	リス科	エゾリス		●	●	●						
ウサギ目	ウサギ科	エゾユキウサギ			●	●						
ネコ目	イタチ科	テン属の1種			●	●						
	イヌ科	キタキツネ			●	●						●
ウシ目	シカ科	エゾシカ				●	●	●		●		
4目6科6種												

①：第1回調査（2月7日）

②：第2回調査（2月20日）



ネズミ科の1種 足跡



エゾリス 目視



エゾリス 足跡



エゾユキウサギ 足跡



テン属の1種 足跡



キタキツネ 足跡



キタキツネ 掘り跡



エゾシカ 足跡

図-12 R2で確認された主な痕跡

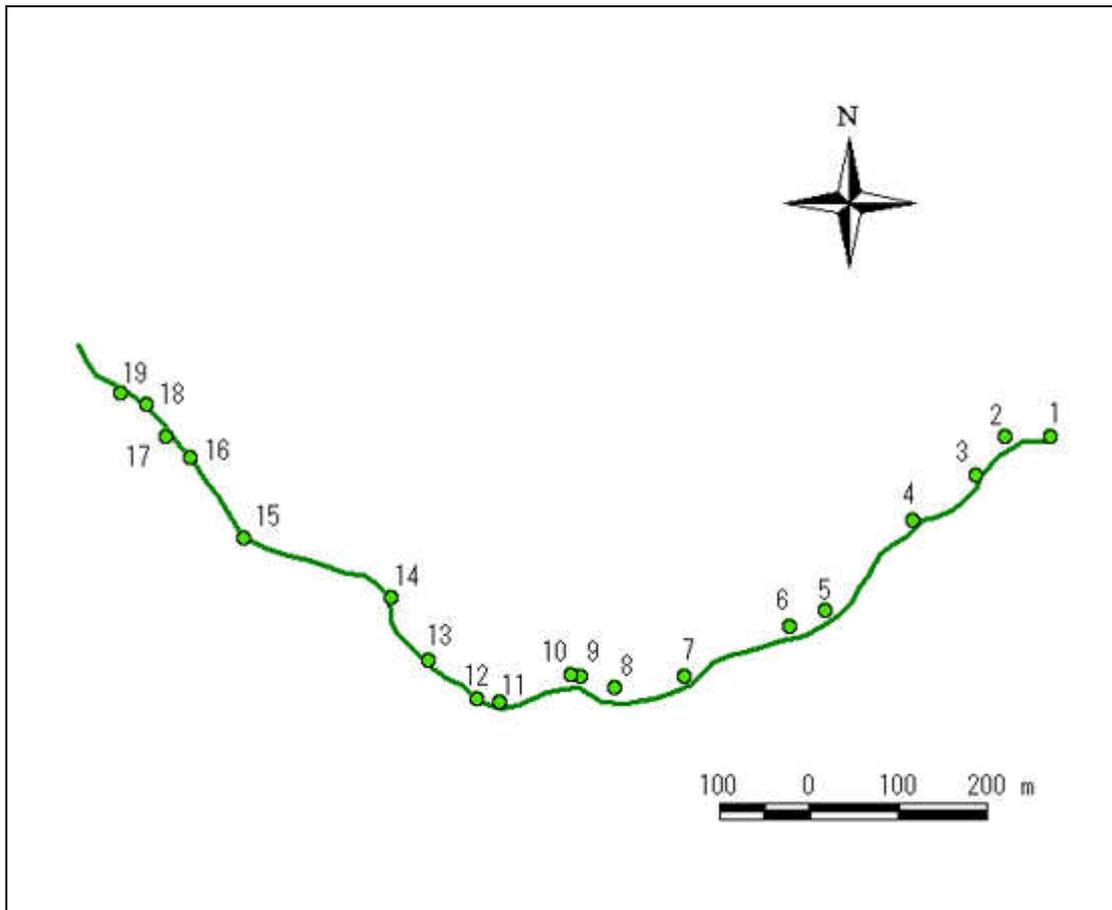


図-13 R2における痕跡確認地点（第1回調査）

表-8 R2で確認された痕跡一覧（第1回調査）

地点No.	種	痕跡内訳	地点No.	種	痕跡内訳
1	エゾリス	足跡	12	エゾリス	足跡
2	キタキツネ	足跡	13	テン属の1種	足跡
3	エゾリス	足跡	14	キタキツネ	足跡
4	キタキツネ	足跡	15	テン属の1種	足跡
5	テン属の1種	足跡	16	エゾリス	足跡
6	エゾリス	足跡	17	エゾリス	足跡
7	テン属の1種	足跡	18	ネズミ科の1種	足跡
8	エゾリス	足跡	19	エゾユキウサギ	足跡
9	ネズミ科の1種	足跡	20		
10	キタキツネ	足跡	21		
11	ネズミ科の1種	足跡	22		

備考：エゾシカの古い食痕については別途記載する。

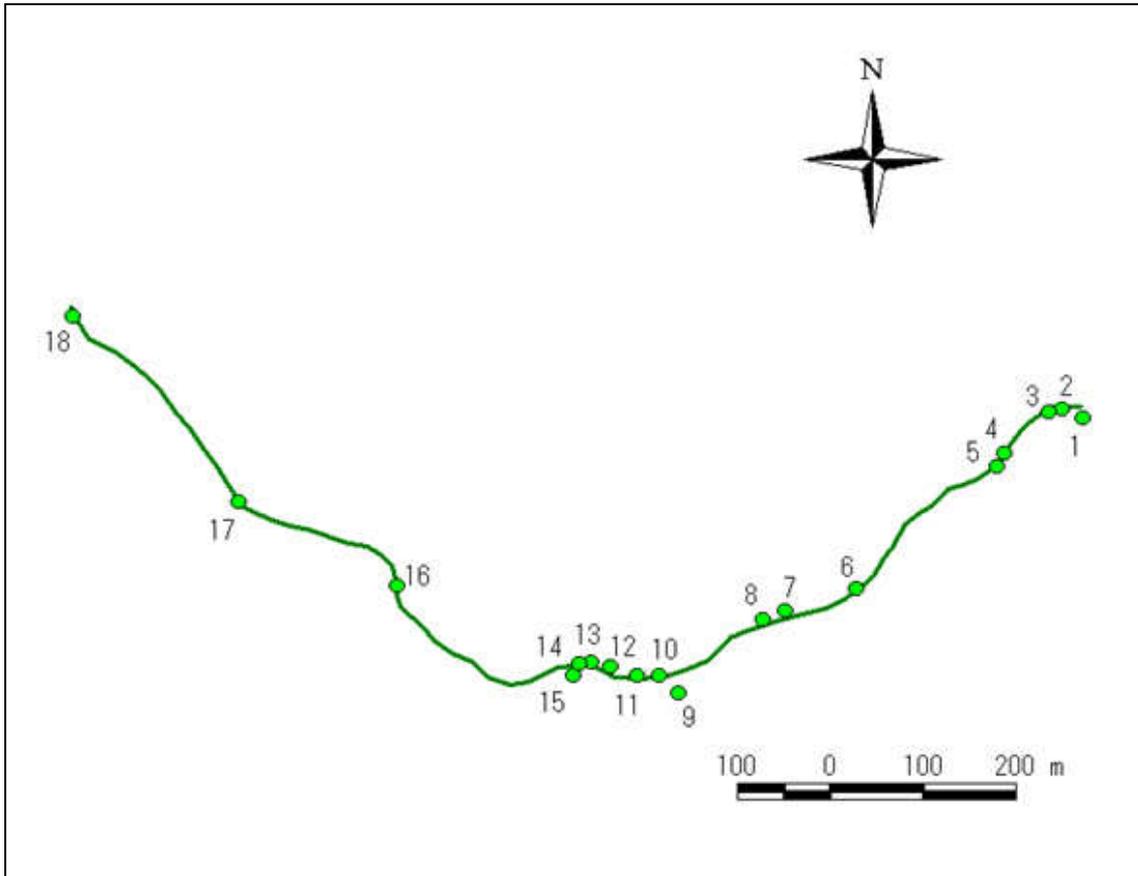


図-14 R2における痕跡確認地点（第2回調査）

表-9 R2で確認された痕跡一覧（第2回調査）

地点No.	種	痕跡内訳	地点No.	種	痕跡内訳
1	キタキツネ	足跡	12	キタキツネ	足跡
2	エゾシカ	足跡	13	テン属の1種	足跡
3	エゾリス	目視	14	エゾユキウサギ	足跡
4	キタキツネ	足跡	15	エゾリス	足跡
5	エゾリス	足跡	16	キタキツネ	掘り痕
6	エゾリス	足跡	17	エゾリス	足跡
7	キタキツネ	足跡	18	エゾリス	足跡
8	エゾリス	足跡	19		
9	エゾユキウサギ	足跡	20		
10	エゾシカ	足跡、フン	21		
11	テン属の1種	足跡	22		

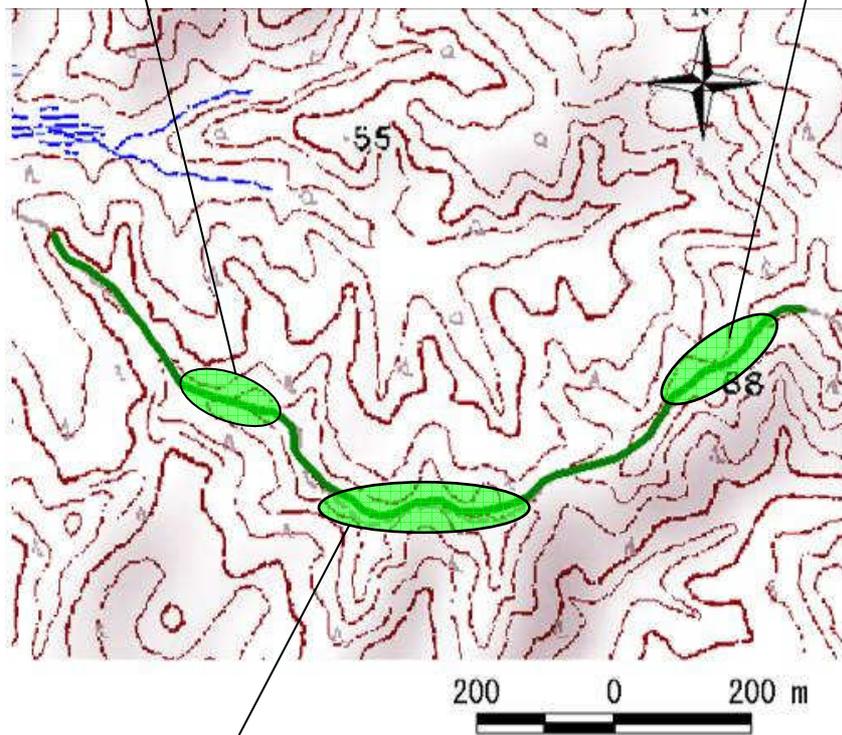
備考：エゾシカの古い食痕については別途記載する。



エゾシカ食痕 (ササ)



エゾシカ食痕 (トドマツ)



エゾシカ食痕 (ササ)



エゾシカ食痕 (ハルニレ)



エゾシカ食痕 (トドマツ)

図-15 R2で確認された食痕位置図

3.2.3 R3 広葉樹林

R3 広葉樹林の周辺環境を図-16 に示す。R2 では4目5科6種の哺乳類が確認された(表-10、図-17)。第1回の調査結果を表-11と図-18に、第2回の調査結果を表-12と図-19に示す。また、確認された食痕の位置図を図-20に示す。

第1回調査 平成18年2月9日 晴れ 積雪約70cm

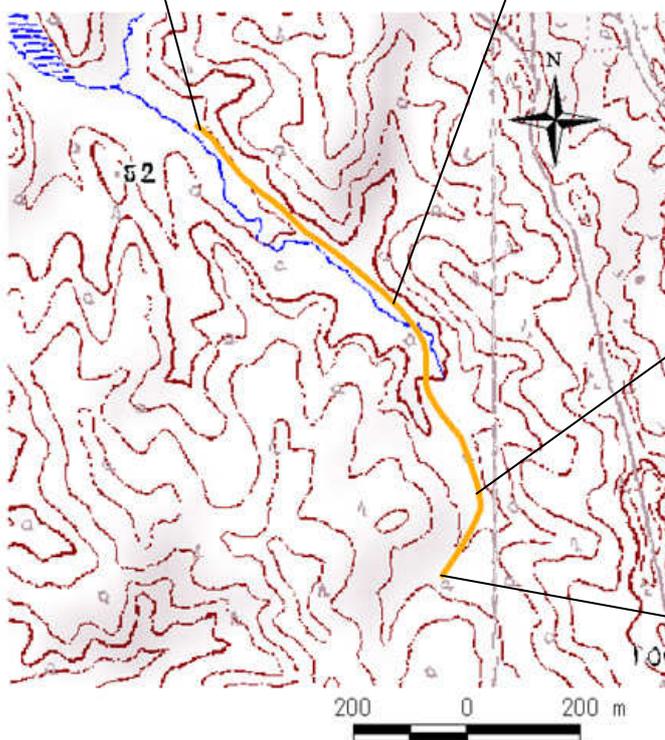
第2回調査 平成18年2月21日 曇り 積雪約40~50cm



広葉樹林 (ハンノキ、ヤチダモ、シラカバ)



広葉樹林 (ハンノキ、ヤチダモ、シラカバ)



広葉樹林 (ハンノキ、ヤチダモ)



広葉樹林 (ハルニレ、ミズナラ、ハシドイ)

図-16 R3の周辺環境

表-10 R3で確認された哺乳類一覧

目	科	種	目視		足跡		食痕		フン		その他	
			①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
ネズミ目	ネズミ科	ネズミ科の1種										
	リス科	エゾリス				●						
ウサギ目	ウサギ科	エゾユキウサギ			●							
ネコ目	イタチ科	テン属の1種			●	●						
		イタチ属の1種			●	●						
	イヌ科	キタキツネ			●	●						
ウシ目	シカ科	エゾシカ			●	●	●	●				
4目5科6種												

①：第1回調査（2月9日）

②：第2回調査（2月21日）



エゾリス 足跡



エゾユキウサギ 足跡



テン属の1種 足跡



イタチ属の1種 足跡



キタキツネ 足跡



エゾシカ 足跡

図-17 R3で確認された主な痕跡

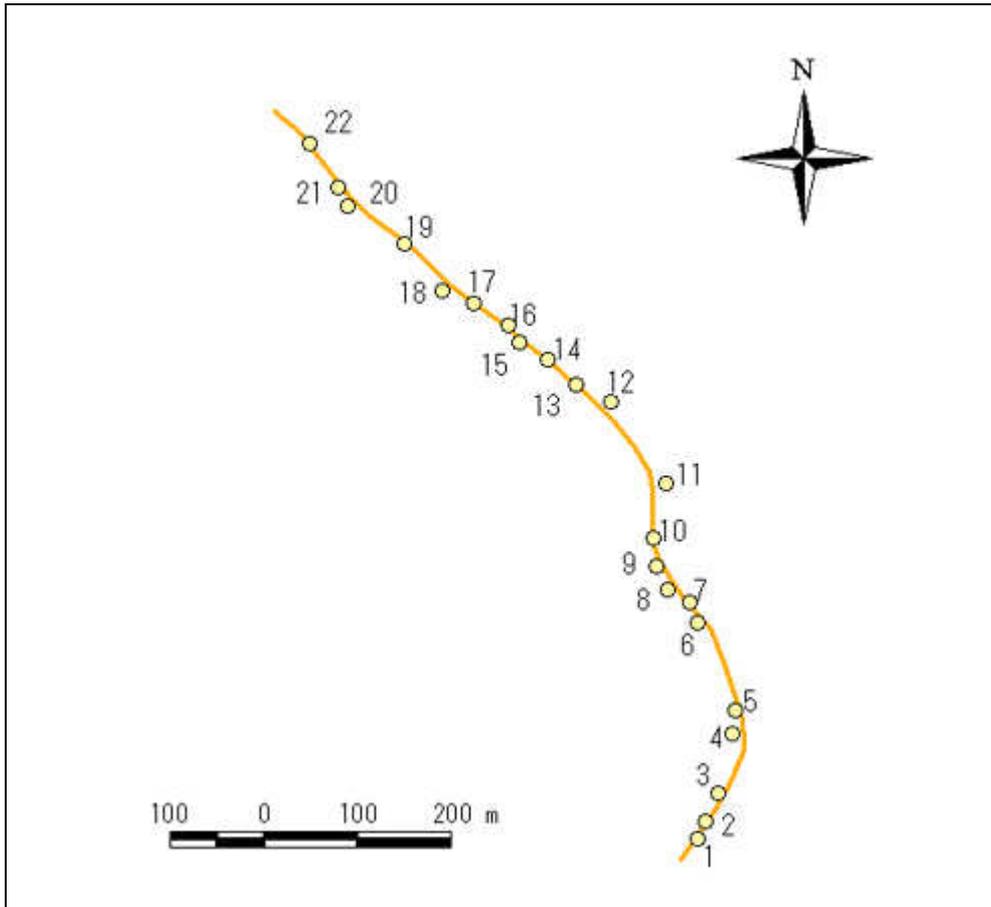


図-18 R3における痕跡確認地点（第1回調査）

表-11 R3で確認された痕跡一覧（第1回調査）

地点No.	種	痕跡内訳	地点No.	種	痕跡内訳
1	キタキツネ	足跡	12	キタキツネ	足跡
2	エゾシカ	足跡	13	エゾユキウサギ	足跡
3	エゾユキウサギ	足跡	14	キタキツネ	足跡
4	テン属の1種	足跡	15	エゾシカ	足跡
5	エゾシカ	足跡	16	イタチ科の1種	足跡
6	キタキツネ	足跡	17	キタキツネ	足跡
7	キタキツネ	足跡	18	エゾユキウサギ	足跡
8	エゾシカ	足跡	19	エゾシカ	足跡
9	エゾユキウサギ	足跡	20	エゾユキウサギ	足跡
10	エゾシカ	足跡	21	キタキツネ	足跡
11	エゾシカ	足跡	22	キタキツネ	足跡

備考：エゾシカの古い食痕については別途記載する。

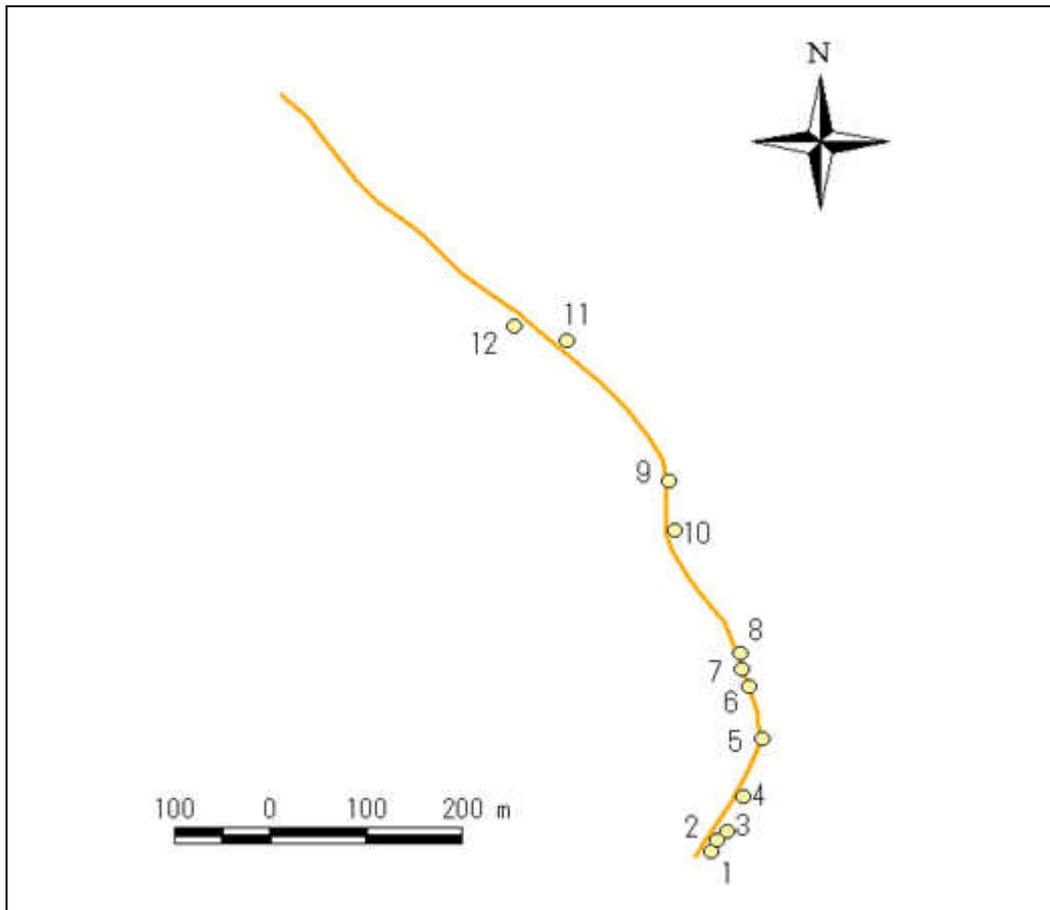


図-19 R3における痕跡確認地点（第2回調査）

表-12 R3で確認された痕跡一覧（第2回調査）

地点No.	種	痕跡内訳	地点No.	種	痕跡内訳
1	テン属の1種	足跡	12	イタチ科の1種	足跡
2	エゾリス	足跡	13		
3	キタキツネ	足跡	14		
4	エゾシカ	足跡	15		
5	エゾリス	足跡	16		
6	エゾリス	足跡	17		
7	キタキツネ	足跡	18		
8	エゾリス	足跡	19		
9	エゾリス	足跡	20		
10	エゾシカ	足跡	21		
11	キタキツネ	足跡	22		

備考：エゾシカの古い食痕については別途記載する。

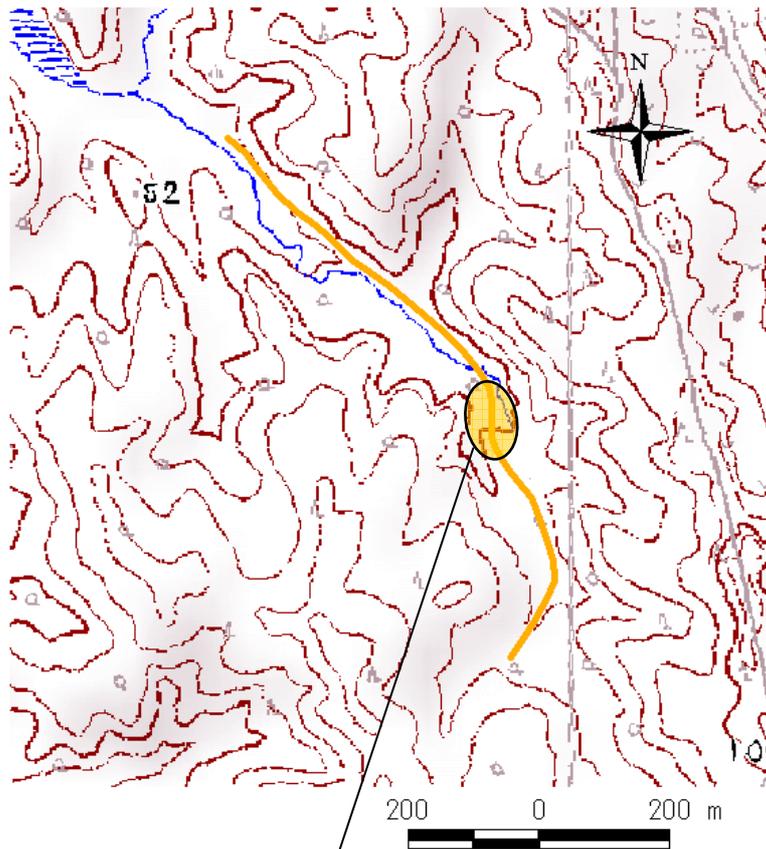


図-20 R3で確認された食痕位置図

3.2.4 R4 ミズナラ植林地

R4 ミズナラ植林地の周辺環境を図-21 に示す。R4 では4目4科4種の哺乳類が確認された(表-13、図-22)。第1回の調査結果を表-14と図-23に、第2回の調査結果を表-15と図-24に示す。また、確認された食痕の位置図を図-25に示す。

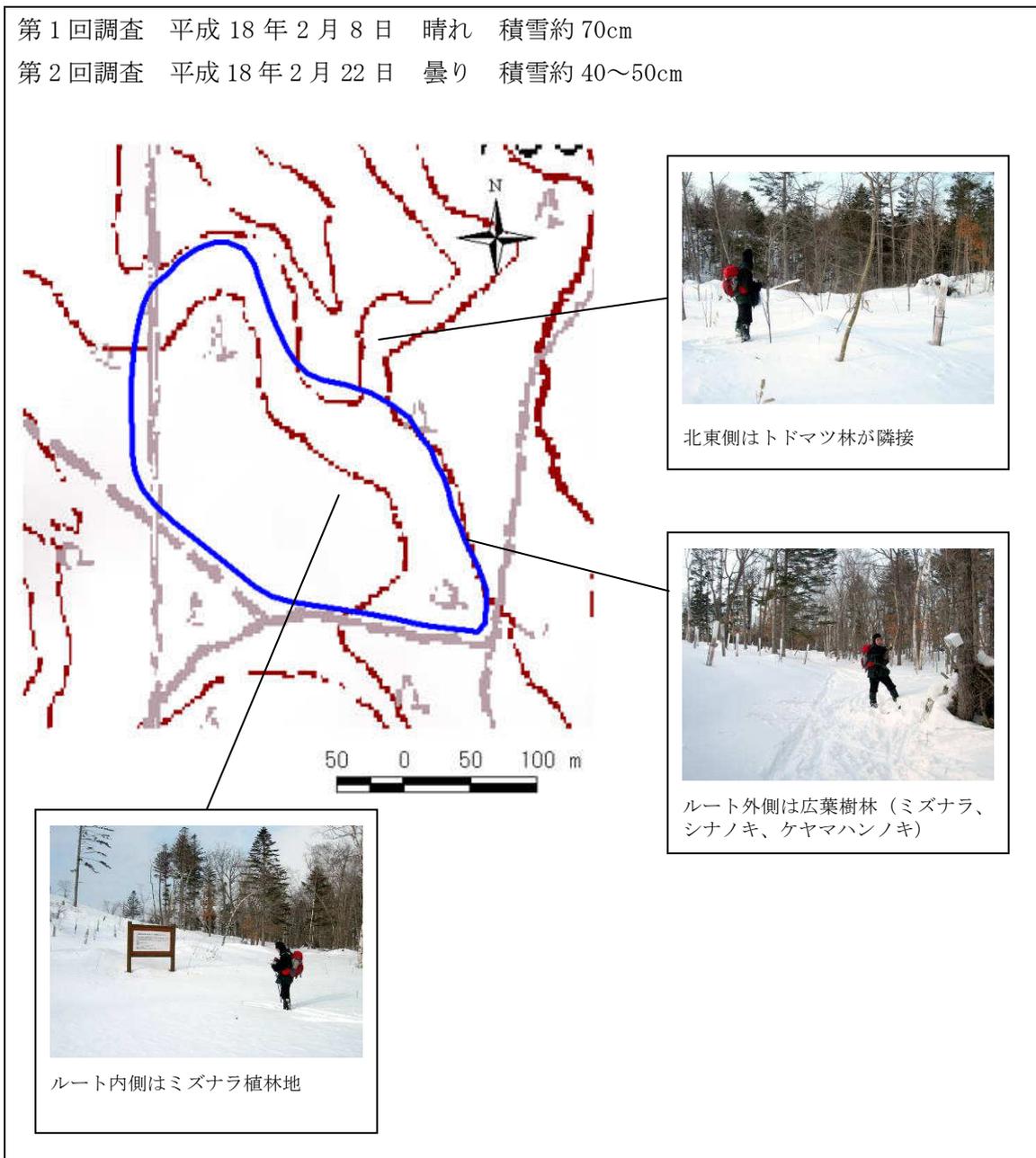


図-21 R4の周辺環境

表-13 R4で確認された哺乳類一覧

目	科	種	目視		足跡		食痕		フン		その他	
			①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
ネズミ目	ネズミ科	ネズミ科の1種										
	リス科	エゾリス			●							
ウサギ目	ウサギ科	エゾユキウサギ			●	●						
ネコ目	イタチ科	テン属の1種										
		イタチ属の1種										
	イヌ科	キタキツネ				●						
ウシ目	シカ科	エゾシカ					●	●				
4目4科4種												

①：第1回調査（2月8日）

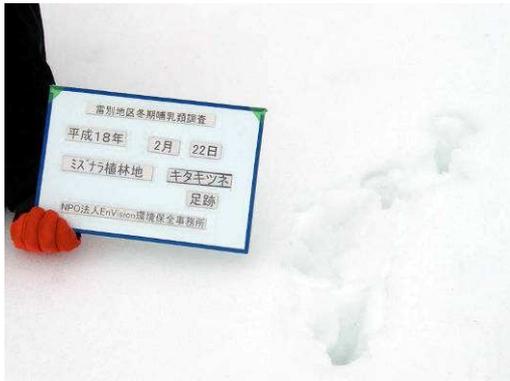
②：第2回調査（2月22日）



エゾユキウサギ 足跡



エゾリス 足跡



キタキツネ 足跡

図-22 R4で確認された主な痕跡

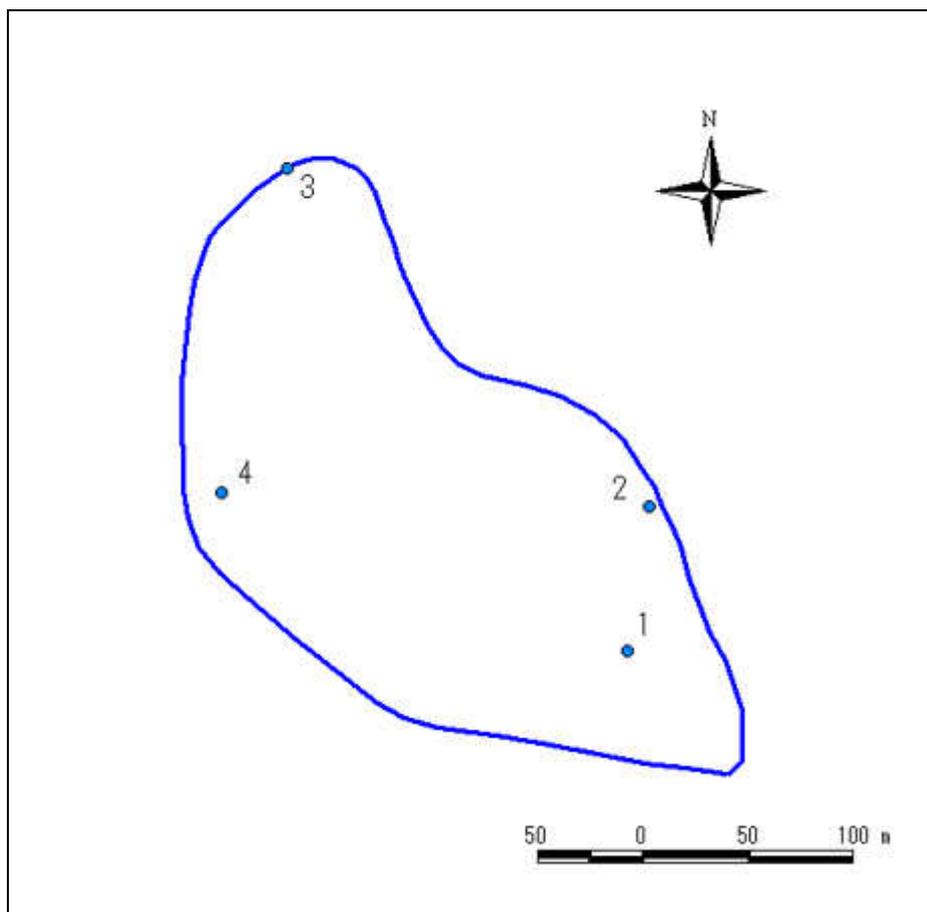


図-23 R4における痕跡確認地点（第1回調査）

表-14 R4で確認された痕跡一覧（第1回調査）

地点No.	種	痕跡内訳	地点No.	種	痕跡内訳
1	エゾユキウサギ	足跡	12		
2	エゾユキウサギ	足跡	13		
3	エゾリス	足跡	14		
4	エゾユキウサギ	足跡	15		
5			16		
6			17		
7			18		
8			19		
9			20		
10			21		
11			22		

備考：エゾシカとウサギの古い食痕については別途記載する。

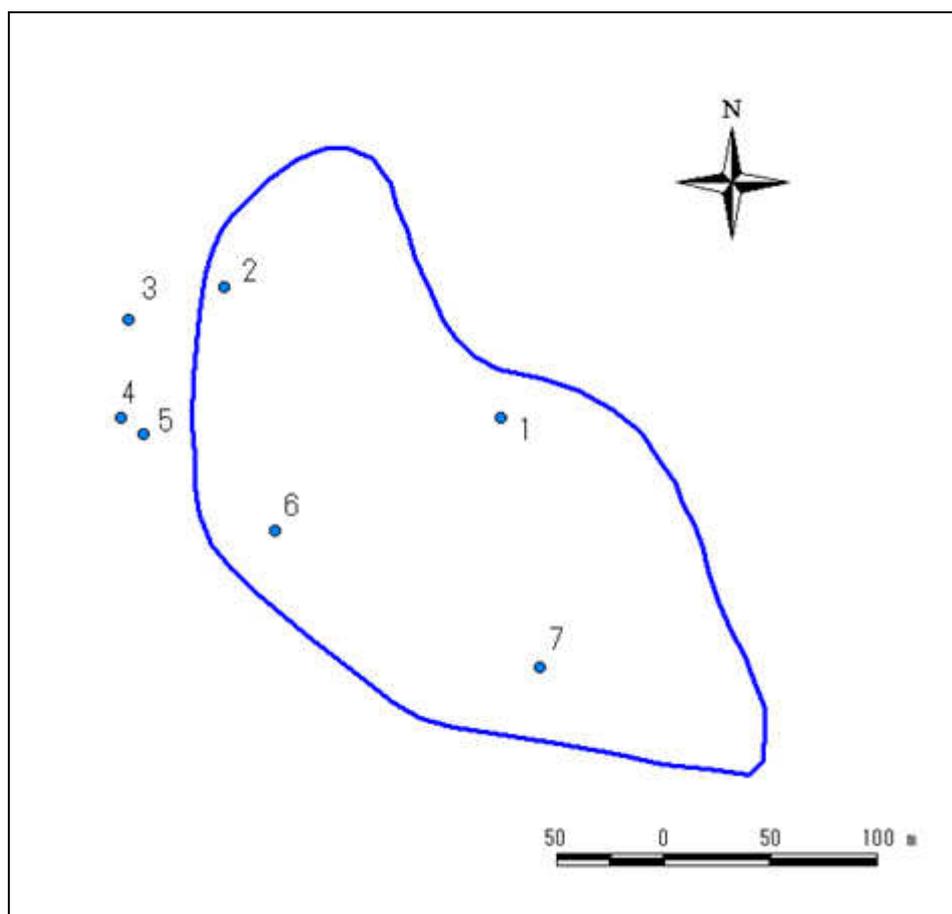


図-24 R4における痕跡確認地点（第2回調査）

表-15 R4で確認された痕跡一覧（第2回調査）

地点No.	種	痕跡内訳	地点No.	種	痕跡内訳
1	エゾユキウサギ	足跡	12		
2	キタキツネ	足跡	13		
3	エゾユキウサギ	足跡	14		
4	キタキツネ	足跡	15		
5	エゾユキウサギ	足跡	16		
6	キタキツネ	足跡	17		
7	キタキツネ	足跡	18		
8			19		
9			20		
10			21		
11			22		

備考：エゾシカとウサギの古い食痕については別途記載する。



図-25 R4で確認された食痕位置図

3.3 自動撮影装置

自動撮影装置で撮影された哺乳類と撮影日時を表-16 に示す。C1 林縁部ではエゾユキウサギ、キタキツネの2種、C2 針葉樹林ではテン属 sp.、キタキツネの2種、C3 広葉樹林ではキタキツネ、エゾタヌキ、エゾユキウサギ、イタチ属 sp の4種が確認された。C4 ミズナラ植林地では哺乳類を確認することは出来なかった。

撮影された写真の一部を図 26-29 に示す。

表-16 自動撮影装置で撮影された哺乳類と撮影日時一覧

設置地点	日付	時刻	種名
C1 林 縁 部	2月8日	4:42	エゾユキウサギ
	3月3日	4:51	エゾユキウサギ
	3月4日	22:30	キタキツネ
C2 針 葉 樹 林	2月26日	2:11	テン属の1種
	3月4日	10:49	キタキツネ
C3 広 葉 樹 林	2月23日	22:04	キタキツネ
	2月24日	4:00	エゾタヌキ
	2月24日	4:05	エゾタヌキ
	2月25日	4:40	エゾユキウサギ
	2月25日	20:45	イタチ属の一種
C4 ミズナラ植林地	撮影無し		



図-26 C1 林縁部 3月3日 エゾユキウサギ



図-27 C1 林縁部 3月4日 キタキツネ



図-28 2月26日 C2 針葉樹林 テン属の1種



図-29 C3 広葉樹林 2月24日 エゾタヌキ

4. 考察

今回の雷別地区冬期哺乳類調査では、4目6科8種の哺乳類が確認された。このうち雷別地区自然再生推進モデル事業で計画している広葉樹による森林再生に影響を及ぼす恐れがある哺乳類として、エゾユキウサギとエゾシカの2種が挙げられる。両種はいずれも草食性の哺乳類であり、今回の調査の中でもミズナラ造林地で採食していることが確認された。そこで、ここでは両種によるミズナラの食害の実態と今後の課題について考察を加える。

まず、エゾユキウサギについては、雪面から出ているミズナラ植栽木の枝先を採食していることが確認された。今回の調査では、植栽木のほとんどが雪に埋まっていたため、食痕を確認できたのは数例程度であったが、融雪が進んでいくことで、さらに多くの食痕が出てくることも考えられる。

ただし、エゾユキウサギの体の大きさを考えると、積雪がなくなれば枝先を採食するのは難しくなる。また、春以降は餌としての魅力が高い草本類も増えてくることから、食害が発生する時期は積雪のある冬に限定されると考えられる。

また、現在のミズナラ植栽木の成長ステージは、最もエゾユキウサギの被害を受けやすい段階であり、仮に、ミズナラ植栽木の樹高が積雪深を大きく越えるまでに成長すれば、エゾユキウサギによる食害は発生しなくなると考えられる。そのため、植栽木が被害を受けない程度の高さにまで成長する間、いかにしてその被害を抑えるかが今後の課題である。

一方、エゾシカについては、今回の調査で新しい痕跡や休み跡などが確認されており、冬期間も周辺に滞在していることが明らかになった。ミズナラについては、植栽木そのものへの食害はみられなかったが、周辺の自然木（樹高3~5m、胸高直径10cm程度）で樹皮剥ぎや枝の食害が確認された。

エゾシカにとって、ミズナラ植栽木は冬期間の餌としての魅力は低いと考えられるが、逆に春以降、芽吹きから開葉期に食害を受ける可能性は高く、今後は時期を変えて調査を実施し、推移を見ていくことが必要である。

また、植栽木よりも大きく成長したミズナラが、エゾシカによる樹皮剥ぎの被害を受けていることを考えると、エゾユキウサギの場合とは違い、エゾシカでは長期的な対策を考えていく必要がある。

5. 資料

5.1 ルートセンサスの記録写真

R1 林縁部 痕跡の一覧 (第1回調査) 1/3



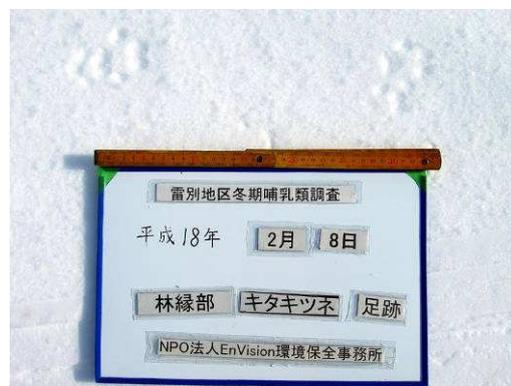
地点No1



地点No2



地点No3



地点No4



地点No5



地点No6



地点No7



地点No8

R1 林縁部 痕跡の一覧 (第1回調査) 2/3



地点No9



地点No10



地点No11



地点No12



地点No13



地点No14



地点No15



地点No16

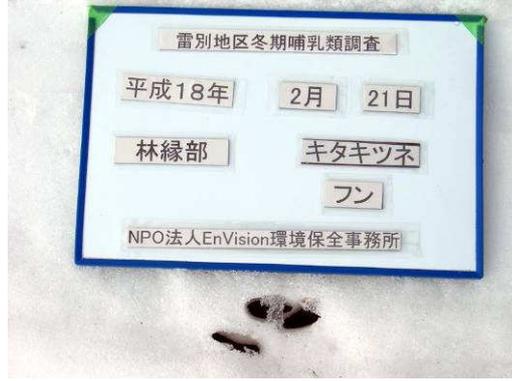


地点No18

R1 林縁部 痕跡の一覧 (第2回調査) 1/2



地点No1



地点No2



地点No3



地点No4



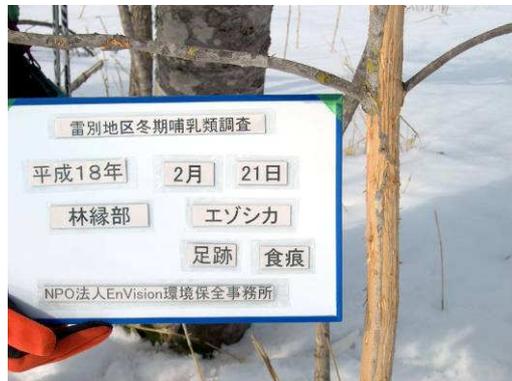
地点No5



地点No6



地点No7



地点No8

R1 林縁部 痕跡の一覧（第2回調査） 2/2



地点No9



地点No10



地点No11

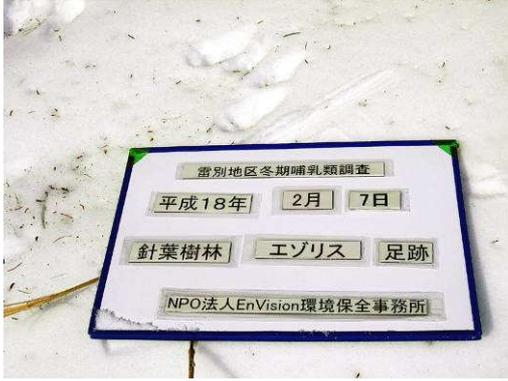


地点No12

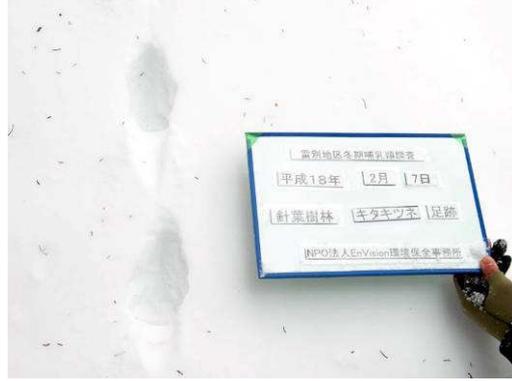


地点No13

R2 針葉樹 痕跡の一覧 (第1回調査) 1/3



地点No1



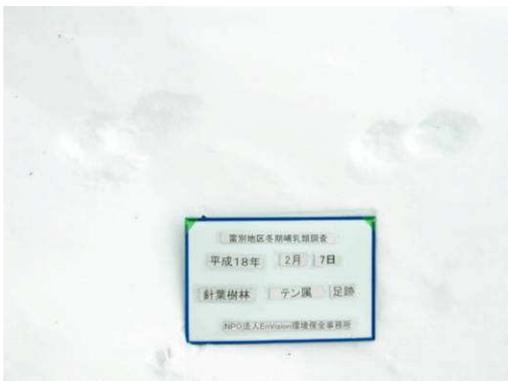
地点No2



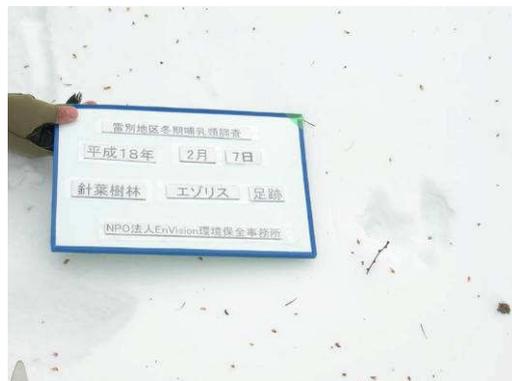
地点No3



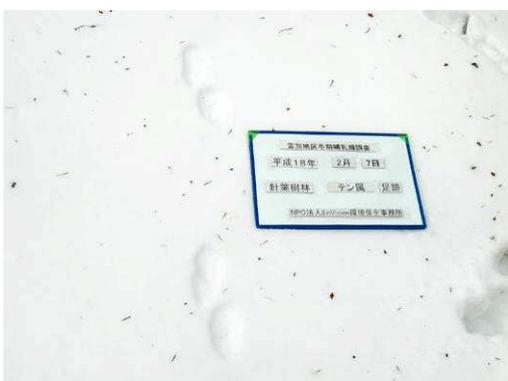
地点No4



地点No5



地点No6



地点No7



地点No8

R2 針葉樹 痕跡の一覧 (第1回調査) 2/3



地点No9



地点No10



地点No11



地点No12



地点No13



地点No14



地点No15



地点No16

R2 針葉樹 痕跡の一覧 (第1回調査) 3/3



地点No17



地点No18



地点No19

R2 針葉樹林 痕跡の一覧 (第2回調査) 1/3



地点No1



地点No2



地点No3



地点No4



地点No5



地点No6



地点No7



地点No8

R2 針葉樹林 痕跡の一覧 (第2回調査) 2/3



地点No9



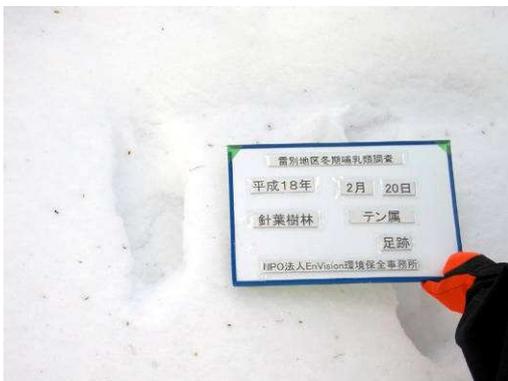
地点No10



地点No11



地点No12



地点No13



地点No14



地点No15



地点No16



地点No17



地点No18

R3 広葉樹林 痕跡の一覧 (第1回調査) 1/3



地点No1



地点No2



地点No3



地点No4



地点No5



地点No6



地点No7



地点No8

R3 広葉樹林 痕跡の一覧 (第1回調査) 2/3



地点No9



地点No10



地点No11



地点No12



地点No13



地点No14



地点No15



地点No16

R3 広葉樹林 痕跡の一覧 (第1回調査) 3/3



地点No17



地点No18



地点No19



地点No20



地点No21



地点No22

R3 広葉樹林 痕跡の一覧 (第2回調査) 1/2



地点No1



地点No2



地点No3



地点No4



地点No5



地点No6



地点No7



地点No8

R3 広葉樹林 痕跡の一覧 (第2回調査) 2/2



地点No9



地点No10



地点No11



地点No12

R4 ミズナラ植林地 痕跡の一覧 (第1回調査)



地点No1



地点No2



地点No3



地点No4

RR4 ミズナラ植林地 痕跡の一覧 (第2回調査)



地点No1



地点No2



地点No3



地点No4



地点No5



地点No6



地点No7

4.2 自動撮影装置

C1 林縁部で撮影された哺乳類の一覧



2月8日 エゾユキウサギ



3月3日 エゾユキウサギ



3月4日 キタキツネ

C2 針葉樹林で撮影された哺乳類の一覧



2月26日 テン属の1種



3月4日 キタキツネ

C3 広葉樹林で撮影された哺乳類の一覧



2月23日 キタキツネ



2月24日 エゾタヌキ



2月24日 エゾタヌキ



2月25日 イタチ属の1種



2月25日 エゾユキウサギ